

A novel approach to decipher molecular mechanisms of human demyelinating diseases

Chairs : Yuji Nakatsuji

Department of Neurology, Toyama University Hospital

Ryo Yamasaki

Department of Neurology, Neurological Institute, Graduate School of Medical Sciences,
Kyushu University

S-01-1

A genetic approach to uncover a novel target molecule for human demyelinating diseases

Takuya Matsushita

Department of Neurology, Kyushu University, Japan

S-01-2

A molecular immunopathological approach to decipher mechanisms of human demyelinating diseases

Tatsuro Misu

Department of Neurology, Tohoku University Hospital, Japan

S-01-3

How to image myelin using MRI

Yaou Liu

Department of Radiology, Beijing Tiantan Hospital, Capital Medical University, China

S-01-4

A genetically engineered mouse approach to elucidate molecular mechanisms of demyelinating diseases

Ryo Yamasaki

Department of Neurology, Neurological Institute, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University,
Japan

後援：日本神経免疫学会

S-02 シンポジウム02

Jp

8月31日(月) 10:30～12:00

第05会場(岡山コンベンションセンター 3F 302会議室)

神経学先進国におけるNeuro-ICUの現状とわが国の歩み

座長：永山 正雄 国際医療福祉大学大学院医学研究科 脳神経内科学
有賀 徹 独立行政法人労働者健康安全機構

S-02-1 神経学における重症患者管理とNeuro-ICUの意義

太田 康之 岡山大学病院 脳神経内科

S-02-2 欧米におけるNeuro-ICUの現状と脳機能モニタリングの進歩

永山 正雄 国際医療福祉大学大学院医学研究科 脳神経内科学

S-02-3 神経集中治療におけるシミュレーション教育とNeuro-ICU

黒田 泰弘 香川大学医学部救急災害医学

S-02-4 急性神経筋疾患のニューロモニタリング

東原 真奈 東京都健康長寿医療センター 神経内科

S-02-5 救急・集中治療からみたNeuro-ICUの意義

有賀 徹 独立行政法人労働者健康安全機構

S-03 シンポジウム03

Jp

8月31日(月) 10:30～12:00

第07会場(岡山コンベンションセンター 2F 展示ホール)

PSP / CBD: 神経画像の進歩

座長：丸山 博文 広島大学大学院医系科学研究科脳神経内科学
坪井 義夫 福岡大学医学部脳神経内科

S-03-1 PSP/CBSはここまで見える

島田 斉 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子医学・医療部門 放射線医学総合研究所 脳機能イメージング研究部

S-03-2 PSP/CBS：診断における脳画像の役割

佐光 亘 徳島大学大学院 医歯薬学研究部 臨床神経科学分野

S-03-3 PSP/CBS 画像診断のコツ

徳丸 阿耶 東京都健康長寿医療センター 放射線診断科

S-03-4 定量的磁化率マッピング 進行性核上性麻痺、多系統萎縮症とパーキンソン病の検討

一般演題から採用

松浦 慶太 三重大学病院神経内科

S-04 シンポジウム04

公募 Jp

8月31日(月) 10:30~12:00

第09会場(岡山県医師会館 4F 402会議室)

めまいを科学する

座長：城倉 健 横浜市立脳卒中・神経脊椎センター 脳神経内科
 福武 敏夫 亀田メディカルセンター脳神経内科

S-04-1 前庭性片頭痛(片頭痛関連めまい)の病態と治療

柴田 護 慶應義塾大学病院 神経内科

S-04-2 大脳病変によるめまい

福武 敏夫 亀田メディカルセンター 脳神経内科

S-04-3 テント下病変による遷延性めまいの病態と治療

城倉 健 横浜市立脳卒中・神経脊椎センター 脳神経内科

S-04-4 持続性知覚性姿勢誘発めまい(PPPD)の病態と治療

城倉 健 横浜市立脳卒中・神経脊椎センター 脳神経内科

S-05 シンポジウム05

Jp

8月31日(月) 10:30~12:00

第11会場(ANAクラウンプラザホテル岡山 1F 曲水)

総括！MS・NMOSDの治療法 Update

座長：横山 和正 順天堂大学 医学部脳神経内科
 中原 仁 慶應義塾大学医学部 神経内科

S-05-1 視神経脊髄炎スペクトラム障害に対するステロイド・免疫抑制剤の使い方

中島 一郎 東北医科薬科大学医学部 老年神経内科学

S-05-2 (RRMS)自己注射薬(IFN β ・GA)の使い方

奥野 龍禎 大阪大学大学院医学研究科 神経内科学

S-05-3 経口薬の使い方

越智 博文 愛媛大学大学院医学系研究科 脳神経内科・老年医学

S-05-4 ナタリズマブの使い方

吉倉 延亮 岐阜大学病院 脳神経内科

S-05-5 MS/NMOSDの新薬展望

中原 仁 慶應義塾大学医学部神経内科

S-06 シンポジウム06

Jp

8月31日(月) 10:30~12:00

第12会場(岡山国際交流センター 8F イベントホール)

前臨床に有用なALSモデルを考える

座長：漆谷 真 国立大学法人滋賀医科大学内科学講座脳神経内科
井口 洋平 名古屋大学医学部神経内科

S-06-1 線虫をモデルにした筋萎縮性側索硬化症関連タンパク質SOD1の毒性評価

古川 良明 慶應義塾大学理工学部化学科生命機構化学研究室

S-06-2 ショウジョウバエモデルを用いたALS研究

上山 盛夫 大阪大学医学系研究科神経難病認知症探索治療学寄付講座

S-06-3 ALSのマウスモデルの有用性と特性

井口 洋平 名古屋大学医学部附属病院 脳神経内科

S-06-4 ALSのiPS細胞モデルの有用性と特性

鈴木 直輝 東北大学病院 脳神経内科/将道会総合南東北病院 脳神経内科

S-06-5 ALSの霊長類モデルの有用性と優位性

大久保卓哉 東京医科歯科大学大学院 脳神経病態学分野(脳神経内科)

S-07 シンポジウム07

Jp

8月31日(月) 10:30~12:00

第13会場(岡山国際交流センター 5F 会議室(1))

ミトコンドリア病 UPDATE

座長：砂田 芳秀 川崎医科大学神経内科学教室
後藤 雄一 国立精神・神経医療研究センター メディカル・ゲノムセンター

S-07-1 ミトコンドリア病の診断アプローチ

後藤 雄一 国立精神・神経医療研究センター メディカル・ゲノムセンター/国立精神・神経医療研究センター
神経研究所 疾病研究第二部

S-07-2 ミトコンドリア病の原因遺伝子変異と病型対応

米田 誠 福井県立大学 看護福祉学部

S-07-3 近年見出された新たなミトコンドリア病

西野 一三 国立精神・神経医療研究センター 疾病研究第一部

S-07-4 ミトコンドリア病治療法開発の現状と展望

砂田 芳秀 川崎医科大学 神経内科学教室

S-08 シンポジウム08

Jp

8月31日(月) 13:30～15:00

第04会場(岡山コンベンションセンター 3F 301会議室)

CIDP：病態解明から新規治療へ

座長：三澤 園子 千葉大学大学院医学研究院脳神経内科学
 桑原 基 近畿大学医学部神経内科

S-08-1 CIDPモデルマウスにおける病態の検討

飯島 正博 名古屋大学医学部附属病院 先端医療開発部/名古屋大学大学院医学系研究科 神経内科学

S-08-2 CIDPにおける臨床病型と自己抗体

桑原 基 近畿大学医学部 脳神経内科

S-08-3 CIDPにおけるblood-nerve barrierへのアプローチ

佐野 泰照 山口大学大学院医学系研究科 臨床神経学

S-08-4 抗neurofascin 155抗体陽性CIDP

緒方 英紀 九州大学病院脳神経内科

S-09 シンポジウム09

Jp

8月31日(月) 13:30～15:00

第05会場(岡山コンベンションセンター 3F 302会議室)

難病患者の意思決定を支える臨床倫理コンサルテーション

座長：稲葉 一人 中京大学法務総合教育研究機構
 永野 功 独立行政法人国立病院機構宮城病院神経内科

S-09-1 臨床倫理コンサルテーションを支える哲学的基盤

浅井 篤 東北大学大学院医学系研究科医療倫理学

S-09-2 臨床倫理コンサルテーションの法的側面

稲葉 一人 中京大学法務総合教育研究機構

S-09-3 臨床倫理コンサルテーションのインテーク・プロセス

板井孝壱郎 宮崎大学大学院医学獣医学総合研究科

S-09-4 臨床現場における倫理的介入の実際

伊藤 博明 国立病院機構宮城病院 内科

後援：日本難病医療ネットワーク学会

S-10 シンポジウム10

Jp

8月31日(月) 13:30～15:00

第06会場(岡山コンベンションセンター 2F レセプションホール)

パーキンソニズムを呈する神経疾患の画像診断

座長：下濱 俊 札幌医科大学医学部神経内科学講座
 羽生 春夫 東京医科大学高齢総合医学分野

S-10-1 パーキンソン病・レビー小体型認知症の画像診断

鈴木秀一郎 札幌医科大学病院 脳神経内科

S-10-2 進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症の画像診断

山崎 峰雄 日本医科大学千葉北総病院 脳神経内科

S-10-3 多系統萎縮症

伊東 秀文 和歌山県立医科大学 脳神経内科学講座

S-10-4 正常圧水頭症、脳血管性パーキンソニズムの画像診断

櫻井 博文 東京医科大学 高齢総合医学分野

S-11 シンポジウム11**公募 Jp**

8月31日(月) 13:30 ~ 15:00

第07会場(岡山コンベンションセンター 2F 展示ホール)

神経変性“因子”のイメージング研究最前線

座長：米田 誠 福井県立大学看護福祉学部

井川 正道 福井大学医学部附属病院脳神経内科

S-11-1 ミトコンドリア機能・神経炎症のイメージング

尾内 康臣 浜松医科大学病院 生体機能イメージング研究室

S-11-2 酸化ストレスのイメージング

井川 正道 福井大学医学部附属病院 脳神経内科/福井大学 高エネルギー医学研究センター

S-11-3 脳内代謝の分析・イメージング：MRSによるトランスレーショナル研究

高堂 裕平 量子科学技術研究開発機構 量子医学・医療部門 放射線医学総合研究所 脳機能イメージング研究部

S-11-4 アストログリオーシスのイメージング

菊池 昭夫 東北大学大学院医学系研究科 神経内科学分野

S-12 シンポジウム12**Jp**

8月31日(月) 13:30 ~ 15:00

第09会場(岡山県医師会館 4F 402会議室)

次世代ALS治験：国内ALS医師主導治験から浮かび上がる課題とは？

座長：青木 正志 東北大学大学院医学系研究科神経内科学

相澤 仁志 東京医科大学 神経学分野

S-12-1 ALSに対する肝細胞増殖因子(HGF) 脊髄腔内反復投与の第II相試験

割田 仁 東北大学病院 脳神経内科

S-12-2 孤発性ALSに対するAMPA受容体拮抗薬の臨床治験

相澤 仁志 東京医科大学 神経学分野

S-12-3 発症早期ALSに対する高用量メコバラミンの第III相試験(JETALS)

和泉 唯信 徳島大学大学院医歯薬学研究部臨床神経科学分野

S-12-4 iPSC細胞創薬に基づいた筋萎縮性側索硬化症(ALS) 治療薬候補ロピニロールの第I/IIa相試験

伊東 大介 慶應義塾大学病院 神経内科

- S-12-5 筋萎縮性側索硬化症(ALS)患者を対象としたボスチニブ第1相試験
井上 治久 京都大学iPS細胞研究所

S-13 シンポジウム13

Jp

8月31日(月) 13:30~15:00

第12会場(岡山国際交流センター 8F イベントホール)

ジストニアupdate

座長：桑原 聡 千葉大学医学部脳神経内科
長谷川一子 国立病院機構相模原病院 神経内科

- S-13-1 ジストニアupdate- オーバービュー
長谷川一子 NHO相模原病院 脳神経内科 / NHO相模原病院臨床研究センター

- S-13-2 ジストニア症状発現の脳内メカニズム-大脳基底核と小脳はどうのように寄与するのか?
知見 聡美 自然科学研究機構生理学研究所生体システム研究部門

- S-13-3 モノアミン代謝異常によるジストニア (瀬川病ほか)
熊田 聡子 東京都立神経病院 神経小児科

- S-13-4 全身性ジストニアに対する両側淡蒼球DBS療法(GPi-DBS)の効果
谷口 真 東京都立神経病院 脳神経外科

S-14 シンポジウム14

Jp

8月31日(月) 15:15~16:45

第04会場(岡山コンベンションセンター 3F 301会議室)

ニューロパチーにおける病態解明と治療の最前線

座長：神田 隆 山口大学大学院医学系研究科臨床神経学
小池 春樹 名古屋大学大学院医学系研究科 神経内科学

- S-14-1 ギラン・バレー症候群の最新治療の動向
三澤 園子 千葉大学病院 脳神経内科学

- S-14-2 自己抗体からみたCIDPの病態と治療法の選択
海田 賢一 埼玉医科大学総合医療センター 神経内科

- S-14-3 シャルコー・マリー・トゥース病と遺伝性圧脆弱性ニューロパチー：
診断の進歩と治療の試み
岡本 裕嗣 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 脳神経内科・老年病学

- S-14-4 血管炎性ニューロパチーの新規治療薬と病態に合わせた治療選択
竹下 幸男 山口大学大学院医学系研究科臨床神経学

S-15 シンポジウム15**Jp**

8月31日(月) 15:15 ~ 16:45

第05会場(岡山コンベンションセンター 3F 302会議室)

難治性頭痛の克服にむけて

座長：竹島多賀夫 社会医療法人寿会富永病院脳神経内科・頭痛センター
鈴木 則宏 湘南慶育病院 脳神経内科

S-15-1 難治性頭痛とは何か

伊藤 康男 埼玉医科大学病院 脳神経内科

S-15-2 慢性片頭痛、薬物乱用頭痛の診断と治療

今井 昇 静岡赤十字病院 脳神経内科

S-15-3 慢性群発頭痛

菊井 祥二 富永病院 脳神経内科

S-15-4 新規発症持続性連日性頭痛

辰元 宗人 獨協医科大学病院 医療安全推進センター

S-15-5 慢性外傷後頭痛(低髄圧性頭痛を含む)

鈴木 倫保 山口大学 脳神経外科 / 山口大学 先進温度神経生物学

S-16 シンポジウム16**En**

8月31日(月) 15:15 ~ 16:45

第06会場(岡山コンベンションセンター 2F レセプションホール)

Autoimmune epilepsy

Chairs : Akio Ikeda

Department of Epilepsy, Movement Disorders and Physiology, Kyoto University Graduate School of Medicine

Riki Matsumoto

Division of Neurology, Kobe University Graduate School of Medicine

S-16-1 Pathophysiology of autoimmune epilepsy

Bo Sun

University of Oxford, UK / Association of British Neurologists, UK

S-16-2 Diagnosis of autoimmune epilepsy

Mitsuhiro Sakamoto

Department of Neurology, Rakuwakai Otowa Hospital, Japan

S-16-3 Clinical management for an acute phase of autoimmune epilepsy

Yuto Uchida

Nagoya City University, Japan / Toyokawa City Hospital, Japan

S-16-4 Clinical variability of autoimmune epilepsy

Kazutaka Jin

Department of Epileptology, Tohoku University Graduate School of Medicine, Japan

S-17 シンポジウム17

Jp

8月31日(月) 15:15～16:45

第07会場(岡山コンベンションセンター 2F 展示ホール)

夢に描く難病医療と支援：難病法の下での課題と展望

座長：吉良 潤一 九州大学大学院 医学研究院神経内科学分野
 荻野美恵子 国際医療福祉大学医学部医学教育統括センター

S-17-1 難病法の下での難病医療提供新体制と全ての難病を対象とした支援

吉良 潤一 九州大学病院 医学研究院神経内科学分野

S-17-2 小児慢性特定疾病患者が円滑に成人医療へ移行するための移行支援体制の整備

掛江 直子 国立成育医療研究センター生命倫理研究室

S-17-3 夢に描く難病医療と支援：難病法の下での課題と展望「当事者が期待していること」

伊藤たてお 日本難病・疾病団体協議会

S-17-4 超高額医療の難病医療への導入にどう向き合うべきか

荻野美恵子 国際医療福祉大学病院 医学教育統括センター

後援：日本難病医療ネットワーク学会

S-18 シンポジウム18

Jp

8月31日(月) 15:15～16:45

第09会場(岡山県医師会館 4F 402会議室)

知っておきたい！進化する難治性筋疾患の新展開

座長：杉江 和馬 奈良県立医科大学脳神経内科学講座
 林 由起子 東京医科大学病態生理学

S-18-1 遠位型ミオパチーの最前線

西野 一三 国立精神・神経医療研究センター 疾病研究第一部

S-18-2 封入体筋炎の診断と新たな治療に向けて

青木 正志 東北大学大学院医学系研究科神経内科学

S-18-3 成人で見られる先天性ミオパチーの診断と治療へのアプローチ

林 由起子 東京医科大学 病態生理学

S-18-4 オートファジー関連筋疾患：Danon病の診療最前線

杉江 和馬 奈良県立医科大学病院 脳神経内科

S-19 シンポジウム19

Jp

8月31日(月) 15:15～16:45

第12会場(岡山国際交流センター 8F イベントホール)

世界をリードするプリオン病研究、さらなる高みを目指して

座長：山田 正仁 金沢大学大学院医薬保健学総合研究科 脳老化・神経病態学(脳神経内科学)
 佐藤 克也 長崎大学医歯薬学総合研究科医療科学専攻保健科学分野(脳神経内科学専攻)

S-19-1 クロイツフェルト・ヤコブ病/ゲルストマン・ストロイスラー・シャインカー病

三條 伸夫 東京医科歯科大学病院脳神経病態学分野(脳神経内科)

S-19-2 プリオン病の画像検査
藤田 浩司 徳島大学病院 神経内科

S-19-3 プリオン病の髄液診断
佐藤 克也 長崎大学医歯薬学総合研究科医療科学専攻保健科学分野 (脳神経内科学専攻)

S-19-4 プリオン病の病理
岩崎 靖 愛知医科大学 加齢医学研究所

S-19-5 プリオン病の治療
坪井 義夫 福岡大学病院 脳神経内科

後援：日本神経感染症学会、アジア・パシフィックプリオン研究会

HT-01 ホットピックス01

En

8月31日(月) 10:30 ~ 12:00

第01会場(岡山コンベンションセンター 4F 405会議室)

Front line of neuromodulation by non-invasive brain stimulation - from basic to clinical

Chairs : Yasuo Terao

Department of Medical Physiology

Ritsuko Hanajima

Division of Neurology, Department of Brain and Neurosciences, Faculty of Medicine,
Tottori University

HT-01-1 Recent Topics in Neuromodulation by transcranial Static Magnetic Stimulation
Tatsuya Mima
The Graduate School of Core Ethics and Frontier Sciences, Ritsumeikan University, Japan

HT-01-2 Clinical application of neuromodulation with transcranial electrical stimulation
Katsuya Ogata
School of Pharmacy at Fukuoka, International University of Health and Welfare, Japan

HT-01-3 Effects of quadripulse stimulation (QPS) on sequential motor learning
Takahiro Shimizu
Division of Neurology, Department of Brain and Neurosciences, Faculty of Medicine, Tottori University, Japan

HT-01-4 Bypassing damaged neural pathways via a neural interface
Yukio Nishimura
Neuroprosthetics Project, Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science, Japan

HT-02 ホットピックス02**Jp**

8月31日(月) 10:30~12:00

第02会場(岡山コンベンションセンター 4F 407会議室)

ビッグデータを使った多因子疾患の理解

座長：鎌谷洋一郎 東京大学大学院新領域創成科学研究科
石浦 浩之 東京大学医学部附属病院脳神経内科

HT-02-1 ゲノム・ビッグデータを使った多因子疾患の理解

鎌谷洋一郎 東京大学大学院新領域創成科学研究科/理化学研究所生命医科学研究センター

HT-02-2 パーキンソン病の遺伝学的研究と応用

佐竹 渉 東京大学 脳神経内科

HT-02-3 ビッグデータからみるALSの臨床像、遺伝子と治療開発の展望

熱田 直樹 名古屋大学医学部附属病院 脳神経内科

HT-02-4 大規模ゲノム・オミックス解析を使った認知症研究の最前線

重水 大智 国立長寿医療研究センター メディカルゲノムセンター/東京医科歯科大学 難治疾患研究所/理研 生命医科学研究センター

HT-02-5 大規模エクソーム解析をやってみたらてんかん性脳症は単純なメンデル型遺伝病の集合体ではなさそうだった

高田 篤 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学

HT-03 ホットピックス03**En**

8月31日(月) 13:30~15:00

第01会場(岡山コンベンションセンター 4F 405会議室)

Dawn of new era: management of migraine headache

Chairs : Koichi Hirata
Department of Neurology, Dokkyo Medical University
Yasuo Terayama
Neurological Institute, Shonan Keiiku Hospital

HT-03-1 Current migraine management

Hisaka Igarashi
Headache Unit, Department of Internal Medicine, Fujitsu Clinic, Japan

HT-03-2 Anti-CGRP antibodies

David W. Dodick
Mayo Clinic, USA

**HT-03-3 Gepants and lasmiditan:
novel players in acute migraine treatment**

Mamoru Shibata
Department of Neurology, Keio University School of Medicine, Japan

HT-03-4 Devices (Cefaly/gammaCore)

Daisuke Danno
Headache center, Department of Neurology, Tominaga hospital, Japan

HT-03-5 Multidisciplinary team approaches for intractable chronic pain
Takahiro Ushida
Multidisciplinary Pain Center, Aichi Medical University, Japan

後援：日本頭痛学会

HT-04 ホットピックス04

Jp

8月31日(月) 13:30 ~ 15:00

第02会場(岡山コンベンションセンター 4F 407会議室)

AI・BMIを活用した脳神経内科の未来

座長：瀧澤 俊也 東海大学医学部内科学系神経内科
井口 保之 東京慈恵会医科大学神経内科

HT-04-1 AIとBMIを支える機械学習技術の現状と脳神経内科臨床応用への展望

花川 隆 京都大学医学研究科脳統合イメージング分野

HT-04-2 経頭蓋磁気刺激による高次機能回路の解明

筒井健一郎 東北大学 大学院生命科学研究所 脳神経システム分野

HT-04-3 BMI技術を用いたニューロフィードバック技術のリハビリテーション分野への応用

三原 雅史 川崎医科大学病院 脳神経内科

HT-04-4 Teleneurologyの展望

井口 保之 東京慈恵会医科大学 神経内科

HT-04-5 HAL[®]の導入による神経筋疾患の機能回復

山口 啓二 一宮西病院 脳神経内科

HT-05 ホットピックス05

Jp・En

8月31日(月) 15:15 ~ 16:45

第01会場(岡山コンベンションセンター 4F 405会議室)

大手製薬会社の目指す神経系創薬の今後の展望と産官学連携

座長：横田 隆徳 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科脳神経病態学分野
高橋 慎一 埼玉医科大学国際医療センター神経内科・脳卒中内科

HT-05-1 医療イノベーションに向けたアカデミア主導研究開発の成功と課題

永井 洋士 神戸大学医学部附属病院 臨床研究推進センター

HT-05-2 産学官連携の創薬の国家戦略

仙波 秀志 文部科学省研究振興局ライフサイエンス課

HT-05-3 製薬企業におけるオープンイノベーションの現状と今後の展望

中西 敏行 第一三共株式会社 研究開発本部 研究開発企画部

HT-05-4 Recent Advances in Precision Medicine Approaches to Making Breakthrough Medicines for CNS Diseases

Ceri H. Davies Takeda Pharmaceuticals Company

HT-05-5 Biogen Perspective on Drug Development for Neurological Diseases The example of Alzheimers Disease
Alfred Sandrock Biogen Inc.

HT-06 ホットピックス06

公募 Jp

8月31日(月) 15:15 ~ 16:45

第02会場(岡山コンベンションセンター 4F 407会議室)

プロテノパチー克服への道程

座長：島田 斉 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所脳機能イメージング研究部
野中 隆 東京都医学総合研究所認知症プロジェクト

HT-06-1 プロテノパチーの本態は何か?細胞内タンパク質凝集体のプリオン様性質
野中 隆 東京都医学総合研究所認知症プロジェクト

HT-06-2 シヌクレイノパチーの次世代標的
奥住 文美 順天堂大学医学部附属順天堂医院 脳神経内科/同志社大学大学院 脳科学研究科 認知記憶加齢部門

HT-06-3 アルツハイマー病に対するアミロイドβへの介入には意味があるのか?
岩田 淳 地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター脳神経内科

HT-06-4 タウオパチーの病理学的検討と新規治療法の開発
植松 未帆 大阪市立大学大学院医学研究科 ゲノム免疫学

HT-06-5 タウオパチーにおけるRNA結合タンパク質の機能不全と治療薬開発の展望
石垣 診祐 名古屋大学大学院医学系研究科・神経変性認知症制御研究部/名古屋大学大学院医学系研究科・神経内科/名古屋大学脳とこころの研究センター